

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（令和元年8月号）

令和元年8月1日

待ちわびた梅雨明けのあとは猛暑の連続、くれぐれもお体にお気をつけください。さて、ボランティア活動のご案内です。

＜8月の共同活動は夏休み、9月は15日（日）午前8：30より駅前花壇の手入れ、午後14：30より帯屋町のライブです。10月は13日（日）の予定です＞

7月のトピックス

○梅雨が一休みしてくれた7月7日（日）午前、いつもどおり高知駅南口「みんなの庭」の草取りをしました。お蔭様で先月植えた夏花がすくすくと育っています。（写真右）。

和花ゾーンには早くもコスモスや朝顔が開花し始めました（下の写真左と中央）。また、隙間に十二単（ジュウニヒトエ）を植え付けました（写真下右）。



○午後はお馴染みの帯屋町ライブ。東京から帰省中のMさんが応援に現れ、ギターを抱えて熱唱する葛岡さんの歌声に乗って、道行く人達に声を掛けながらチラシを配ってくれました。有難うございます。



.....（次ページに続く）.....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11
中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com
公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp
ホームページ：<http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」ナカタマサシ 名義 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える（32）

＜ゆたかな心 地にみどり＞下町らしさ再興の半世紀—東京都江戸川区

— 「いい景色」とは？（その2） —

東京を訪れると「緑が多いなあ」と感じます。中でも、東の千葉県に接する江戸川区（面積 50 平方キロ＝高知市の 6 分の 1、人口 70 万＝高知市の 2.1 倍）のたたずまいには目を見張ります。

NPO 法人「美（うま）し国づくり協会」（理事長進士五十八）から、美しいまちづくり日本一として景観大賞を受賞した、そのわけをご紹介します。



「川を残してほしい、清流を取り戻したい」という区民の願いに応じて、区は都市化でドブ川や道路となった水路を、延べ 27 km の「水と緑のネットワーク」（親水公園 5 箇所、親水緑道 18 箇所）に再生しました。散策、お花見、水遊び、舟遊びが楽しめるようになり、灯籠流し、盆踊音頭が復活しました。



合言葉は「ゆたかな心、地にみどり」。緑を増やすために色んな公園をたくさん作りました。その数現在 470 箇所以上、1 人当たり公園面積 11.2 m²（高知市は 7.9 m²）、樹木数は半世紀前の 5 倍 648 万本です。



景観大賞受賞の大きな理由の一つが、「地域を良くしよう」、「子育てしやすい、お年寄りにも住みよい街にしよう」という共通の思いから、長年にわたって地味な活動を続けてきたボランティアの存在です。公園の手入れ、清掃、イベントなどの担い手が数千人といわれます。

詳しくは、江戸川区ホームページの広報動画

<http://www.news.city.edogawa.tokyo.jp/movie/movie2118.html> をご覧ください